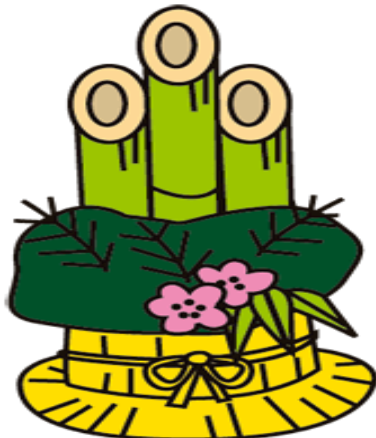




ちゅうおう

発行：校長 松良秀治

2024年・令和6年が始まりました。



2024年（令和6年）がスタートしました。今年も中央小学校をよろしくお願ひします。

今年辰年（たつどし）です。2024年は甲辰になります。陰陽五行説によると「甲」は草木の成長を表す意味があり、植物が成長するようにどんどん勢いを増して増えていくという意味があります。2024年辰年は、昨年まで努力してきたことが実を結んで成就する年になることでしょう。また、辰年にさらなる努力をすることで、成功にスピード感をもって近づける年になると思います。

インフルエンザや新型コロナウイルス感染症は今も私たちの生活に大きな影響を与えています。すでに学級閉鎖になったクラスもありますし、過日学校全体を閉鎖することもありました。辰年の2024年、今まで目標にチャレンジしてきたことが本当に実を結ぶ年になればと願っています。

さて、三学期始業式の日子どもたちの元気な姿での登校を目にすることが出来ました。新型コロナウイルス感染症や、インフルエンザ、風邪等も心配でしたが、みんなの顔を見て、今年もエネルギーをもらった感じです。感染症対策を行うにあたり、わたしたち一人ひとりがどう行動するべきかを考えて実行していきたいと思ひます。まずは予防の徹底、検温、マスク、手洗い、3つの密を避ける、換気等感染症対策を今後も続けて、教育活動を進めていきます。緊急で連絡することがこれからもあるかと思ひます。スクリーン、学校のホームページ等をご覧ください。

今年も中央小学校に関わる全てのみなさまが、お互い笑顔で無事に過ごせますよう願っています。幸多き年になりますように。

2023年度おべんきょうアンケート回答結果

例年この時期におべんきょうアンケートの結果をお知らせしています。2学期末に中央小学校研究部の先生方に取りまとめてもらい、校内で分析もしました。一部紹介します。数字は「そう思う」「少しそう思う」と回答した子どもの割合です。前が2022年度、後が2023年度の数値です。

○授業中、ノートやプリントに自分の考えを書く場面がある。 89%→88%

※肯定的回答の数字は少し下がっていますが、引き続き9割ほどの子どもがそう思っているのは、昨年度に引き続き国語以外の教科でも、書く場面を授業に取り入れている結果だと思われます。子どもたちが振り返りを書く習慣がしっかりと定着しています。

○授業中、自分の意見や考えを伝える場面がある。 85%→83%

○授業中、話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりしている。

82%→83%

○授業中、これまで学習してきた内容や、今の学習に関連ある内容をふりかえる場面がある。 90%→89%

○相手にわかりやすく自分の考えを書いたり、話したりしている。 82%→80%

※子ども自身が相手に意識を持つ必要性を感じる場面の設定など、具体的に相手意識を持つための仕掛けづくりが必要だと感じています。相手にわかりやすい表現とはどんなものなのか具体的に実践することが大切だと考えています。

○わからないことは自分で調べている。 82%→85%

※クロームブックの活用で子どもが自分で調べやすいようになってきていると考えられます。

○文章を書くことが好きだ 62%→65%

※子どもたちが実際に書く文章は年々よくなっているにもかかわらず、肝心の子どもたちが達成感や満足感が得られていない。長年書き続けている子どもたちのがんばりを、子どもたち自身がしっかり感じてほしいし、自信をもって書き続けてほしい。そのために必要なことを考え続けたい。



2月の下校時間変更について

地域のみなさま、子どもたちの安全見守りをしていただきありがとうございます。2月で普段と違う下校時間等についてお知らせします。

2/14:1,2年生研究授業 3~6年生 13:30 下校 1,2年 14:40 下校